道徳通信

2年生 No. 24

クラス道徳「優しさの光線」

あらすじ

翔は，このところ毎日のように保健室に来ています。頭痛や吐き気でどうしても教室にいられないのです。翔は，必死で勉強しても成績が上がらず、得意なことも好きなことも見つからず、自信を失っていました。養護の藤崎先生に将来の夢をきかれても、わからないとしか言えません。

土曜日の夕方，翔は買い物の途中、犬を抱いた藤崎先生に出会いました。震えている犬に自分を重ねた翔は，藤崎先生に勧められて犬を抱いてみました。すると，犬の震えは止まりました。藤崎先生は，翔の，翔にしかない優しさが犬に伝わったのだと褒めてくれました。翔は，自分にしかないものがあるのかもしれないと思い，久しぶりに空を見上げました。

大丈夫だよ。
怖がらないで。

「自分はだめじゃないか」
という気持ちをもっていないと
進歩がありません。
（臨床心理学者　河合隼雄）

「僕にしかない優しさ。
僕だけがもっているもの。」

＜みんなの感想＞

・今日の授業でなんの夢も得意なことがなくても、誰かの言葉などで、自分が変われるかもしれないんだなと思いました。（K くん）

・一人の言葉で人は変えられるんだなと思いました。それだけ言葉に思いがつまっていたことなんだなと思いました。普段自分の良さや強みを考えないけど、この機会に考えられて良かったです。（N さん）

・今日の授業で、自分のいいところを改めて見つけられた。自分にしかできないことを見つけてみようと思った。山本くんが変わっていったように、自分も前向きに変わっていこうと思った。（T さん）

・得意なことがないということはないんじゃないかなと思いました。何もできないんじゃなくて、何事にも前向きに考えないといけないと思いました。（O さん）

・僕もまだ将来の夢のことを考えていなかったけど、この話を聞いて、まだまだあせらなくてもいいんだなと改めて感じました。これからも自分のよさなどを探していきたいなと思いました。（T くん）

・自分の自信が１回なくなったとして、人の言葉に自分の心は揺れると思うし、その時に自信がなかったとしても、何かのきっかけで自信は絶対につくと思うから、そのときになかったとしても焦らずにゆっくりと見つけられると思う。（F くん）

・自分にしかないよさが必ずあるんだなと思いました。自分のよさに自信をもって、将来の夢を見つけたいなと思いました。自分にしかできないことを見つけたいです。（Y さん）

・自分の事と向き合うことで自信をもてるし、がんばろうとできる。自分のよいところも、悪いところも認めることが自分と向き合うということだと思う。犬の震えが止まるぐらいの優しさってすごいと思った。（Ｉさん）

・人には、その人にしかない良さがあるんだと思いました。その良さは、一つだけじゃないと思うし、これからまだ自分の中にある良さを見つけていきたいと思いました。また、自分だけの色を出していきたいです。（O さん）

・私もこの話を読んで、将来について考える時を与えられたんだなって思っていた。そんなに深く考えていなくて、話を読んで、自分の将来への気持ちや自分の良さや強みも考えてみて、それに沿った将来について考える時間にもなった。（T さん）

・私には将来の夢があって、でも、その夢が叶うのか、とても心配です。今回の授業でまず感じたことは、自分にしかできないことを考える必要があると思いました。それをきっかけにもっと将来の夢についての視野が広がると思いました。（H さん）

・自分ももう少しで進路を決めていろいろなことをしなければいけないけど、まだ何も決まっていない自分と重なった。「あせって結果を出さなくても大丈夫、ゆっくりでいい」という言葉がすごく心に残るような感じだった。（T さん）

・自信をもつのは勇気がいると思いました。自分を好きになるのも難しいことだと思います。でも、人に好かれることでやっと自信がもてたり、自分が好きになれると思うので、出会いは大切なんだと思いました。（K さん）

・私も翔と同じで自分が将来この職業につきたいとか、これをしたいとかがない。何をしようかと考えているときもあるので、ちょっとしたことでも自分の良いところを見つけることができるんだなと思いました。（U さん）